

## 令和7年度医学部臨時定員増による地域枠設定について

### ◎ 医師確保計画における必要医師数等

- 令和6年3月に策定した第2次新潟県医師確保計画（前期）において、将来時点（2036年）までに医師需要を満たすだけの医師数である必要医師数を6,137人と定めたところ。なお、年間不足養成数※は164人と国から示された。

※将来時点（2036年）の必要医師数を達成するため、臨時定員の地域枠で不足する医師を補うと仮定した際に、令和6年度以降、必要になると推計される1年当たりの養成数

### ◎ 令和7年度の地域枠拡大（報告）

- 令和6年9月5日の地域医療対策協議会にて、令和7年度医学部臨時定員（地域枠）に係る入学定員増について協議し、ご承認をいただいたところ。
- その後、次のとおり国から臨時定員の設置が認められた。

<新潟県の地域枠設定状況>

	R6	R7	R7-R6	修学資金貸与額 (6年間/月額)
新潟大学	40名	40名		1,080万円/月 15万円
順天堂大学	1名	1名		2,160万円/月 30万円
関西医科大学	2名	2名		
昭和大学	7名	7名		
東邦大学	8名	8名		
東京医科大学	3名	3名		
日本医科大学	2名	2名		
杏林大学※ <sup>1</sup>	4名	4名		3,700万円/月約50万円
日本大学※ <sup>2</sup>	4名	4名		3,660万円/月約50万円
北里大学※ <sup>3</sup>	3名	3名		
獨協医科大学※ <sup>4</sup>	2名	2名		
帝京大学※ <sup>5</sup>	1名	1名		
金沢医科大学		2名	+2名	2,160万円/月 30万円
合計	77名	79名	+2名	

※1 新潟県厚生農業協同組合連合会と連携して修学資金を貸与

※2 市町村（三条市、糸魚川市、小千谷市、阿賀野市）と連携して修学資金を貸与

※3 市町村（村上市・関川村・粟島浦村、南魚沼市、佐渡市）と連携して修学資金を貸与

※4 市町村（燕市・弥彦村、見附市）と連携して修学資金を貸与

※5 市町村（魚沼市）と連携して修学資金を貸与

### ◎ 今後の方針（案）

必要医師数の確保に向けて、財政負担を考慮しつつ、臨時定員地域枠の拡大可能性を検討するとともに、既に地域枠を設置している大学に対して、恒久定員内への設置に向けた働きかけを行う。